

国際広報メディア・観光学専攻

## 観光創造研究コース

令和2年度  
前期

日本語論述

10:00～12:00

### 解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙（25字×40行=1,000字）は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000 字の日本語（横書き）で解答しなさい。  
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。  
また字数は改行による空白を含めて計算する。

近年、観光とインターネットはますます密接に関連するようになっている。なかでも、Instagram、Facebook、Twitter といった SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の隆盛は、観光者の行動や実践を大きく変化させている。観光者がカメラを持参することは 20 世紀から一般的であったが、さらに SNS とカメラが結びつくことで、観光のまなざし、場所の意味や役割、ホストとゲストの関係性はどのような影響を受けているだろうか。具体的な例を挙げながら論じなさい。